

プログラム

第一部「現状と課題」

冒頭スピーチ「物質文明から生命文明に転換」

環境考古学者 安田喜憲氏

パネリストによる発言「現状と課題」

①「原子力防災対策における避難先の事前確保、国との連携、県民への情報伝達など、静岡県の取り組みについて」

静岡県危機管理監 小林佐登志氏

②「原子力防災対策におけるヨウ素剤の配付などの牧之原市の取り組みについて」

牧之原市長 西原茂樹氏

③「浜岡原発は東海地震に耐えられるか?」「使用済み核燃料の最も安全な保管方法」

元東芝原子炉格納容器設計技師、沼津工業高等専門学校特任教授、NPO法人APAST事務局長 渡辺敦雄氏

④「東海地震の想定内・想定外」

静岡大学防災総合センター客員准教授・関西大学社会安全学部准教授、専門：地震防災、地震学 林能成氏

第二部「ディスカッション原発震災防災計画策定に向けて」

第一部でパネリストが発言した「現状と課題」について、二人の市民パネリスト（浜岡原発20キロ圏内の市民、母親の立場の市民）が質問をしていきます。

*パネリストの肩書きは、2012年3月31日時点のものです。

定員：500人

事前申込は不要です。当日定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費：500円

手話通訳あり

聴覚障がい者専用席あり(20席程度)：事前予約要、「お名前、人数、連絡先(ファックス番号、E-mailアドレスなど)」を、3月31日までにホームページお問い合わせフォーム、メール、ファックス、電話のいずれかで、事務局までお申し込み下さい。

託児室(グランシップ1階)：無料、定員14名、2歳以上

赤ちゃん(2歳未満)と一緒にシンポジウムを聴ける小部屋(シンポジウム会場11階ホール「風」)：無料、6室(各室大人用の椅子2脚のみ、子ども用の椅子はありません)、各室定員(大人2人と2歳未満の子ども1~2人)

事前予約要、「お名前、人数(大人と子ども)、年齢(子ども)、託児室または小部屋のどちらをご希望か、連絡先(電話番号またはE-mailアドレス)」を、3月31日までにホームページお問い合わせフォーム、電話、メール、ファックスのいずれかで、事務局までお申し込み下さい。

インターネット中継あり(手話通訳も同時にご覧いただけます)

<http://shizuokamirai.jimdo.com/>インターネット中継/

会場：静岡県コンベンションアーツセンター



「グランシップ」11階会議ホール「風」

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4
JR東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分

※駐車場はございますが、催事によって満車となる場合がございますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。

